

2025年改訂版



鳥海山



活火山鳥海山全域

火山防災マップ



鳥海山の
豊かな恵み

噴火による
災害

マップ作成の目的

鳥海山は、過去に大きな噴火を繰り返してきた東北地方を代表する活火山です。鳥海山火山防災マップでは、鳥海山の噴火に関する調査をもとに、過去の噴火史、火山災害に関する基礎情報、将来に鳥海山が噴火した場合に火山災害がおよぶ可能性のある区域を示すとともに、避難経路や避難所などを掲載しています。

このマップは、鳥海山の山麓にお住まいの方々や観光などで鳥海山を訪れる多くの方々などに、これらの情報を知っていただき、火山災害の危険性や避難の必要性などを理解いただくことを目的として作成したものです。



にかほ市

仁賀保町、金浦町、象潟町の
三町が合併し誕生。
秋田県内では春の訪れが
最も早い温暖な、日本海と
鳥海山に抱かれた地域です。



勢至公園



仁賀保高原



中島台レクリエーションの森



三崎公園

鳥海山を囲

遊佐町

湧水の里としても有名で
小正月行事、アマハゲを含む
“来訪神、仮面・仮装の神々”
がユネスコ無形文化遺産に
登録された自然・文化を世界
に発信するまちです。



丸池様



遊佐の小正月行事(アマハゲ)



夕暮れの日本海



十六羅漢岩

由利本荘市

子吉川の流れとともに広がり面積は県内最大。
鳥海国定公園を中心に、温泉やアウトドア、歴史探訪もできる日本海に面した人と自然が共に生きる街です。

竜ヶ原湿原



本荘川まつり花火大会



森子大物忌神社



法体の滝

む4つのまち

酒田市

北に鳥海山、南に月山を望み、雄大な庄内平野の中央を流れる最上川。
庄内空港と重要港湾酒田港を有する交通の要衝として発展を続けています。

眺海の森



舞娘茶屋 相馬樓 竹久夢二美術館



山居倉庫



玉簾の滝

山形県側

噴火の
繰り返して形成

北と南で違う
自然の造形美

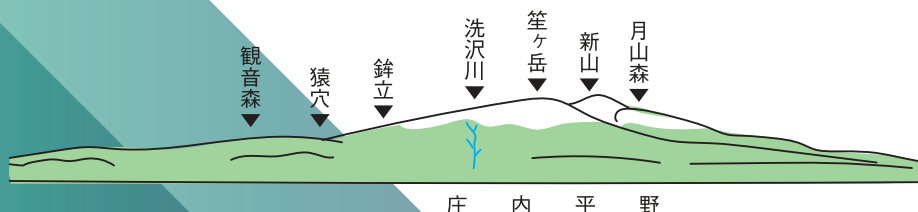


なだらかな裾野が広がる鳥海山

鳥海山のかたち

鳥海山は裾野が広がった美しい円錐形で、山頂に雪が積もった姿が富士山に似ているため“出羽富士”とも呼ばれ親しまれています。鳥海国定公園に属し、おもに安山岩でできた溶岩流を主体とした『成層火山』で、日本海に面した秋田県と山形県境に位置し、一番高い『新山』は標高 2,236 m に達する高峰です。火山体の径は東西約 26 km、南北約 14 km に達し、日本でも有数の規模を誇る火山なのです。

鳥海山は、長い間噴火を繰り返しています。その間、大きな火山ができたり、それが崩れたり複雑な歴史を辿ってきました。そのため、鳥海山を北と南から見るとその姿は異なります。北方の秋田県側から見ると、鳥海山には大きな崖や谷が見えます。大きな崖は鳥海山が崩れた時のものです。このため北から見る鳥海山は荒々しく、たくましく見えるのです。南方の山形県側から見ると大きく崩れた部分は目立ちません。溶岩で埋め尽くされたなだらかな斜面は、やさしげな感じがします。南北のどちらから見ても鳥海山は魅力的ですが、見え方の違いはその成り立ちによる違いなのです。



秋田県側

鳥海山の自然



鳥海ブルーライン



ハクサンイチゲ



イワギキョウ



クルマユリ



オコジョ



法体の滝



奈曽溪谷



九十九島(くじゅうくしま)

岩なだれ
噴火・地震

九十九島と
広く豊かな
大地

鳥海山の歴史

鳥海山と岩なだれ

紀元前466年、鳥海山は大きく崩れ、岩なだれが発生しました。それまでは尖った形をしていた鳥海山は北にえぐれ今でも秋田県側からみるとそのえぐれた地形を見ることができます。この巨大崩壊で崩れた岩石と土砂は猛スピードで流れて海に達し、平らで小さな丘が点々とある地形を作りました。これらの丘は「流れ山」といって、鳥海山の山頂付近にあった溶岩が粉々に砕けたものの中に入っています。やがて一帯は湖になり、小さな丘は湖のなかに浮かぶ島々「九十九島(くじゅうくしま)」となりました。

その美しい景観は広く知れわたり、江戸時代の俳人・松尾芭蕉をはじめ多くの文人墨客が訪れました。

さらに1804年、象潟大地震がおこり、2m以上隆起して、干潟(陸地)になり現在の姿となりました。下記の屏風は、地震前の湖の様子を知ることが出来る貴重な資料です。



「象潟図屏風」(別名 金屏風)秋田県指定有形文化財

主要な火山活動

旧石器

縄文

2000年前

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

1000年前

鎌倉

南北朝

室町

安土桃山

江戸

明治

大正

昭和

現在

- 紀元前466年に、現在の山頂付近が大きく崩れました。
この大きなへこんだ形は東鳥海馬蹄形カルデラと呼ばれています。
- 崩れた岩石や土砂は、高速で流れ、現在の「にかほ市」一帯に広く堆積しました。
その体積は30～40億m³(東京ドーム約2,800杯分)と推定されています。
- このような大規模な山崩れは、今後数万年は起こらないでしょう。



- 三代実録(貞観十三(871年)年五月十六日条)に鳥海山の溶岩が流出したと考えられている記載が残されています。
その記述は「山の上に火が上がり、土石が焼け雷のような音がした」「川が泥水であふれ、死んだ魚がたくさん浮いた」「大きな二つの蛇が流れ出て、小さい蛇がたくさん付き従った」といったものですが、この蛇は溶岩が流れた様子を例えたものと考えられます。



- 荒神ヶ岳付近の東西方向に延びる割れ目から噴火が起こりました。1801年7月には最も激しい噴火活動となりました。
- このとき噴火の状況を見にいった11名のうち8名が噴石により命を落としています。
- 7月4日に火山活動が再び激しくなり6日正午頃にやや大きな規模の噴火が起こり溶岩が噴出して新山が形成されました。
- 一週間後の7月15日に大雨のため白雪川で大規模な降灰後の土石流が起こり途中で溢れながら海に到達し約30haの田畑に被害を及ぼしたそうです。
また、流れ込んだ土砂のために港が使用できなくなり、川の水が濁って飲み水として利用できないという被害も生じたといえます。



- 1974(昭和49)年3月1日に噴煙が確認されました。(約150年ぶりの噴火)
- いくつもの火口からマグマ水蒸気噴火が約2ヶ月間くり返されました。
- 冬だったので火山から出てきた熱い岩、石、灰が雪を融かして小規模な火山泥流が何回か発生しました。



多様な火山災害！もし、噴火が起きると...

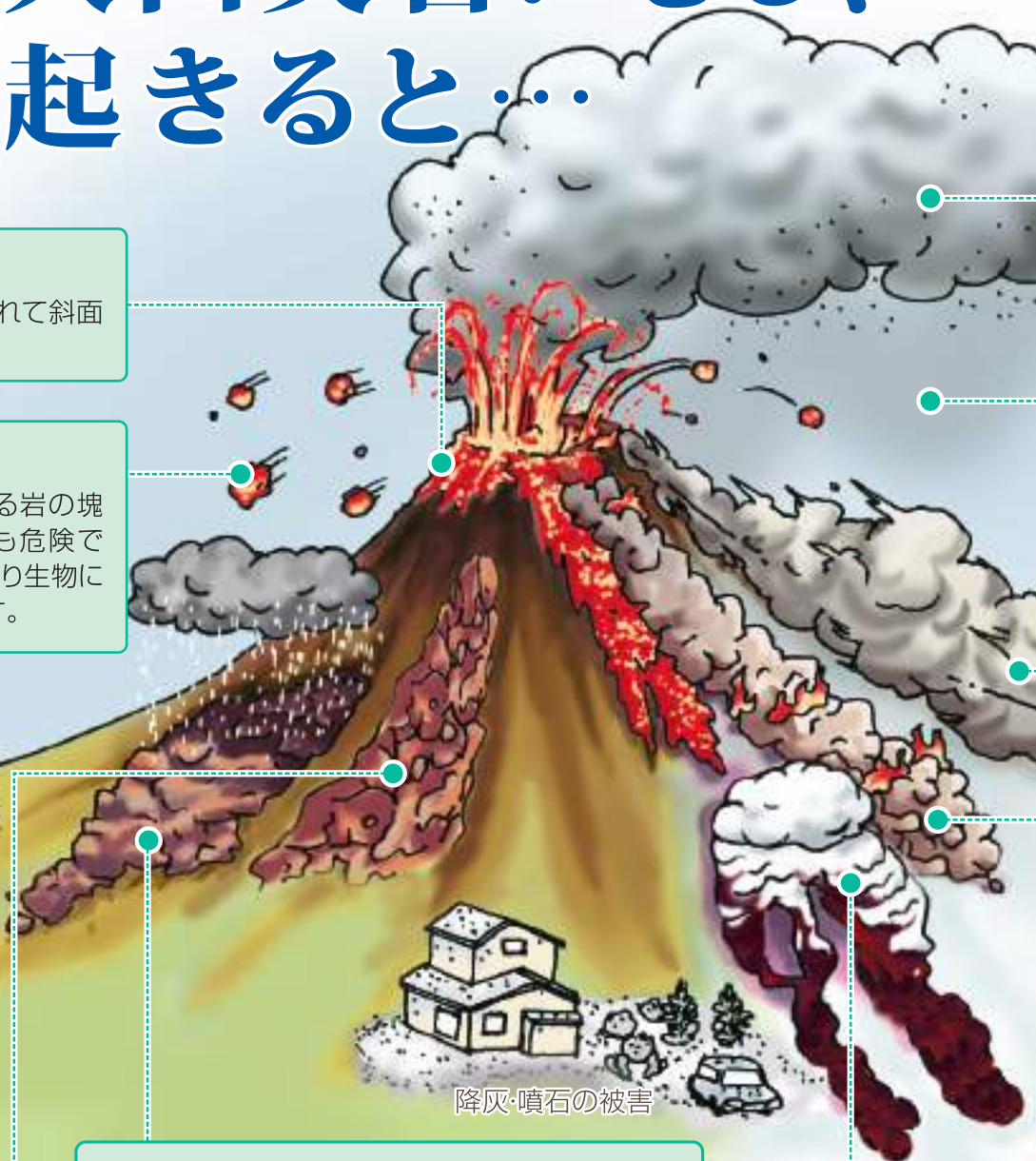
■ 溶岩流

高温のマグマが火口からあふれて斜面を流れ下る現象です。

■ 噴石

火口から数km以内に落下する岩の塊のことで、人に当たるととても危険です。時には直径1m以上にもなり生物にも壊滅的な被害をもたらします。

鳥海山の噴火現象



■ 降灰後の土石流

降灰後の土石流は、火山灰が降り積もったところに雨が降ることにより発生します。特に沢沿いや低い場所は危険です。

■ 融雪型火山泥流

火砕流の熱などで積雪が融かされて泥流となり、周辺の土砂など巻き込みながら高速で流下します。広範囲に大規模な被害を引き起こすことがあります。

■ 岩なだれ

噴火や地震が引き金となって、山体が大規模に崩壊して発生する現象です。
*発生する可能性が低いためハザードマップでは想定していません。

■ 火口噴出型泥流

火口から直接熱水等が噴き出し、火山泥流となって谷を流れ下る現象。融雪型火山泥流と同様に、高速で破壊力が大きく、大規模な災害を起こす可能性があり積雪の有無とは関係なく発生します。

鳥海山に 要注意！

穏やかな鳥海山も活火山であり
このような現象がいつ起こっても
おかしくないことを
忘れてはいけません。

■ 火山灰

上空の風によって運ばれ、
火山灰による健康被害や
農作物への影響など、広範
囲に被害が発生します。

■ 火山ガス

火口や噴気地帯から噴出するガスのこと
で、二酸化硫黄、硫化水素などの有毒ガス
も含まれています。

火山噴火への備え

最近では1974年3月1日に小規模な水蒸気噴火が発生し、山麓一帯への広範囲な降灰や小規模な融雪型火山泥流が確認されており、将来も噴火する可能性があります。噴火の性質や規模、災害予想区域、噴火時の心構えや備えなどについて、再確認が必要です。

◆鳥海山の噴火の前兆現象に注意してください。

次のような現象に気づいたら、
気象台または各自治体へご連絡を！

- 噴気の異常（硫黄臭・色がついている煙など）
- 地震の増加
- 地下水や湧き水の異常

■ 火砕流・火砕サージ

火砕流・火砕サージは高温の火山灰や岩塊、火山ガスなどが一体となり、山体を高速で流れ下る危険な現象です。高温で破壊力が大きく、壊滅的な被害をもたらします。



昭和49年3月1日に起きた鳥海山の水蒸気噴火

鳥海山の噴火警戒レベル

平成 30 年 3 月 27 日運用開始

- 噴火警戒レベルとは、噴火時などに危険な範囲や必要な防災対応を、レベル 1 から 5 の 5 段階に区分したものです。
- 各レベルには、火山の周辺住民、観光客、登山者等のとるべき防災行動が一目で分かるキーワードを設定しています(レベル 5 は「避難」、レベル 4 は「高齢者等避難」、レベル 3 は「入山規制」、レベル 2 は「火口周辺規制」、レベル 1 は「活火山であることに留意」)。
- 鳥海山の噴火警戒レベルは、噴火警報等でお伝えします。 ●噴火警戒レベルは必ずしも順をおって発表されるとは限りません。

予報警報	名称	対象範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者 入山者等への対応	想定される現象等
特別 警報	噴火警報(居住地域)	居住地域及びそれより火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等。	● 噴火により火砕流・火砕サージ、火口噴出型泥流、融雪型火山泥流が居住地域に影響を及ぼす、または切迫している。 過去事例 1800～04 年の噴火：新山形成、火砕物降下、噴石、泥流、死者 8 名
			4 (高齢者等避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での高齢者等の要配慮者及び特定地域の避難、住民の避難の準備等が必要。	● 噴火により火砕流・火砕サージ、火口噴出型泥流、融雪型火山泥流が居住地域に影響を及ぼすことが予想される。 過去事例 該当事例なし。
警報	噴火警報(火口周辺)	火口から居住地域近くまで	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	火口から居住地域近くまでの範囲への立入規制等。 状況に応じて高齢者等の要配慮者の避難の準備、特定地域の避難等が必要。 住民は通常の生活。	● 噴火により大きな噴石が火口から概ね 4km の範囲内、火砕流・火砕サージが居住地域の近くまで影響を及ぼす、または予想される。 過去事例 1740～47 年の噴火： 噴煙多量、硫黄化合物が 川に流入し、水田・川魚に被害 1974 年の噴火：火砕物降下、泥流
		火口周辺	2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	火口周辺への立入規制等。 状況に応じて特定地域の避難の準備等が必要。 住民は通常の生活。	● 噴火により大きな噴石が火口から概ね 1.5km の範囲内に影響を及ぼす、または予想される。 過去事例 該当事例なし。
予報	噴火予報	火口内等	1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	状況に応じて火口内への立入規制等。	● 火口内で噴気や火山ガス等が発生。



1974 年、噴火時の鳥海山

※火口とは、鳥海山火山噴火緊急減災対策砂防計画の想定火口域をいう
状況に応じて新山周辺に火口域が限定される場合がある
※火口噴出型泥流とは、噴火に伴い火山内部の熱水が噴出し、泥流となって流れ下る現象をさす
※融雪型火山泥流は積雪期のみ想定される
※特定地域とは、他の居住地域より早期に避難等の対応が必要な地域をさす(観音森地区、升川地区、三ノ俣地区)
※各レベルの警戒が必要な範囲内で上位レベルに記述されている火山現象が発生する場合がある
■各レベルにおける具体的な規制範囲等については各市町の地域防災計画等で定められています。
■最新の噴火警戒レベルは気象庁 HP でもご覧になれます。
<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

気象庁

鳥海山の火山ハザードマップ

鳥海山の火山ハザードマップは次の条件で作成しました。

◆想定した火口ゾーン

鳥海山の火口は1ヶ所だけではありません。過去の噴火をみると、現在の山頂(新山)付近から猿穴付近にかけて火口位置が分布しています。そのため、東鳥海馬蹄形カルデラから猿穴火口を包含する範囲を想定火口ゾーンとしました。

想定火口ゾーン内で今後噴火する可能性が一番高いのは新山付近です。

◆想定した火山現象

噴石

噴石による被害は火口周辺に限られます。鳥海山においては、明確な実績がないので他火山の事例などを参考に、想定火口ゾーンを囲んで1.5 km、4 kmの細長い区域としております。

降灰

噴火した場合には、降灰(火山灰が空から降ってくる)があるでしょう。溶岩流の1割の規模(210万 m^3)の火山灰が降ると想定しています。

火砕流・火砕サージ

溶岩ドームの形成時に、崩落型の火砕流が発生する可能性があります。溶岩流の1割の規模(210万 m^3)の火砕流が発生すると想定しています。

溶岩流

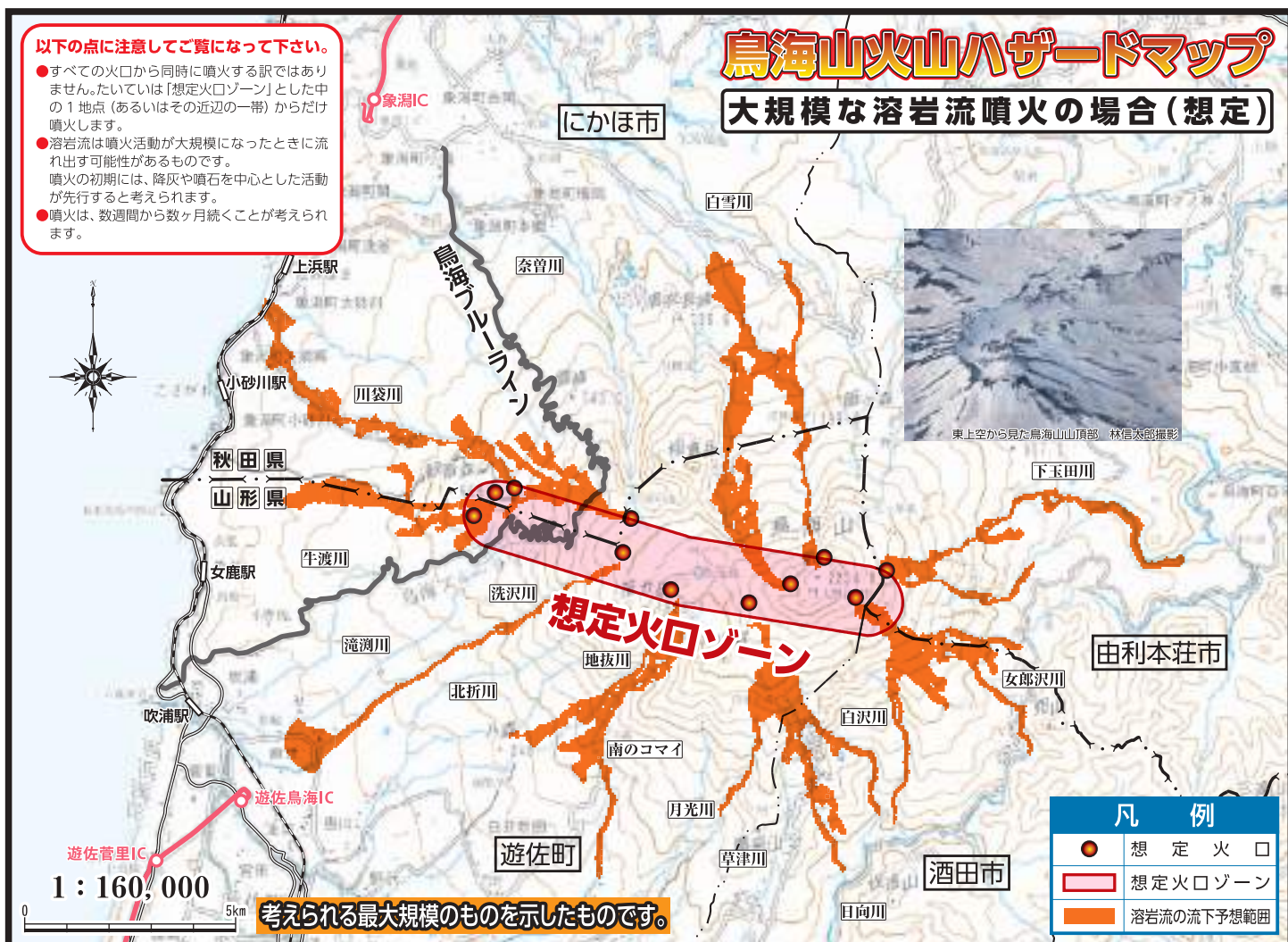
鳥海山では、溶岩流は過去約200年間は発生していませんが、今後も大規模な噴火の場合には、発生する可能性があります。過去の大規模噴火の平均的な溶岩流体積(2,100万 m^3)を対象に想定しています。

融雪型火山泥流・火口噴出型泥流

鳥海山では、融雪型火山泥流(積雪期)及び火口噴出型泥流(通年:白雪川が対象)が発生する可能性があります。噴火による噴出物(210万 m^3)の温度を800度、2年確率の年最大積雪深における融雪水量等から火山泥流量を計算し、浸水範囲を想定しています。

◆噴火の規模について

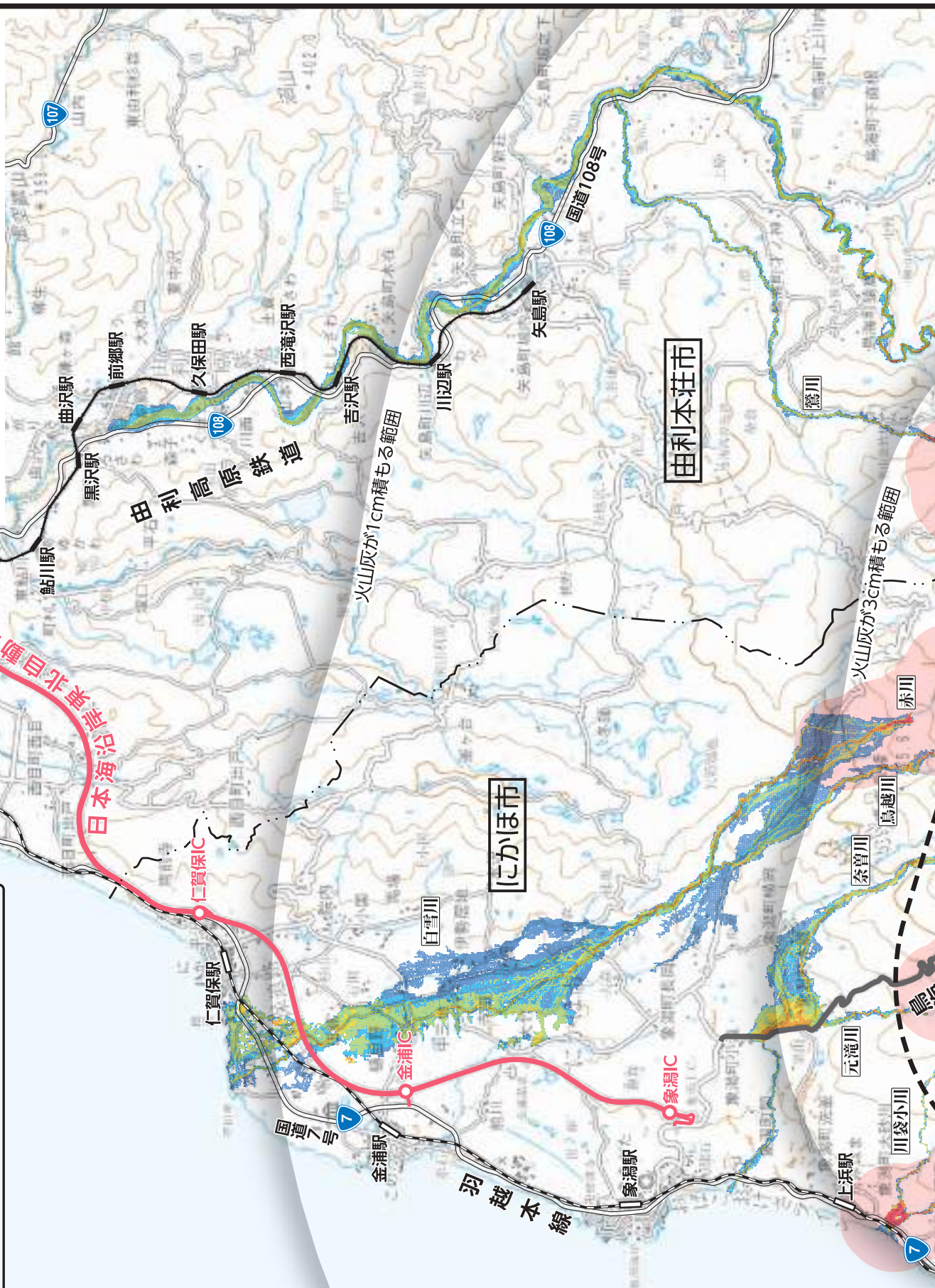
噴火の規模は、小規模噴火(水蒸気噴火:1974年噴火等)、中規模噴火(マグマ噴火:1801年噴火等)及び大規模噴火(マグマ噴火:871年噴火等)の3種類を想定しています。この火山ハザードマップでは、そのうち、より大きな被害が想定される大規模噴火によって発生する現象を中心に記載しています。

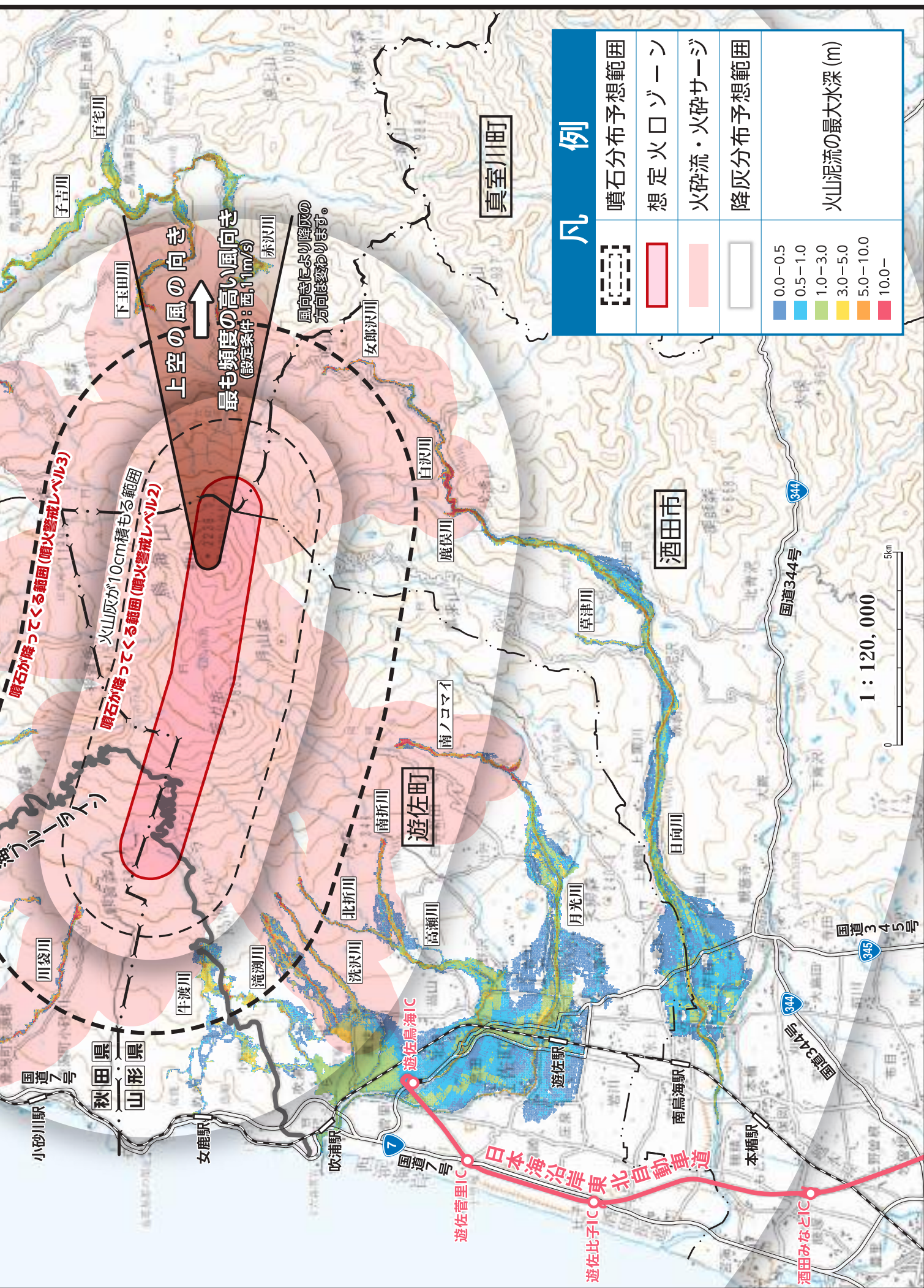


鳥海山火山ハザードマップ

全域版（秋田県・山形県）

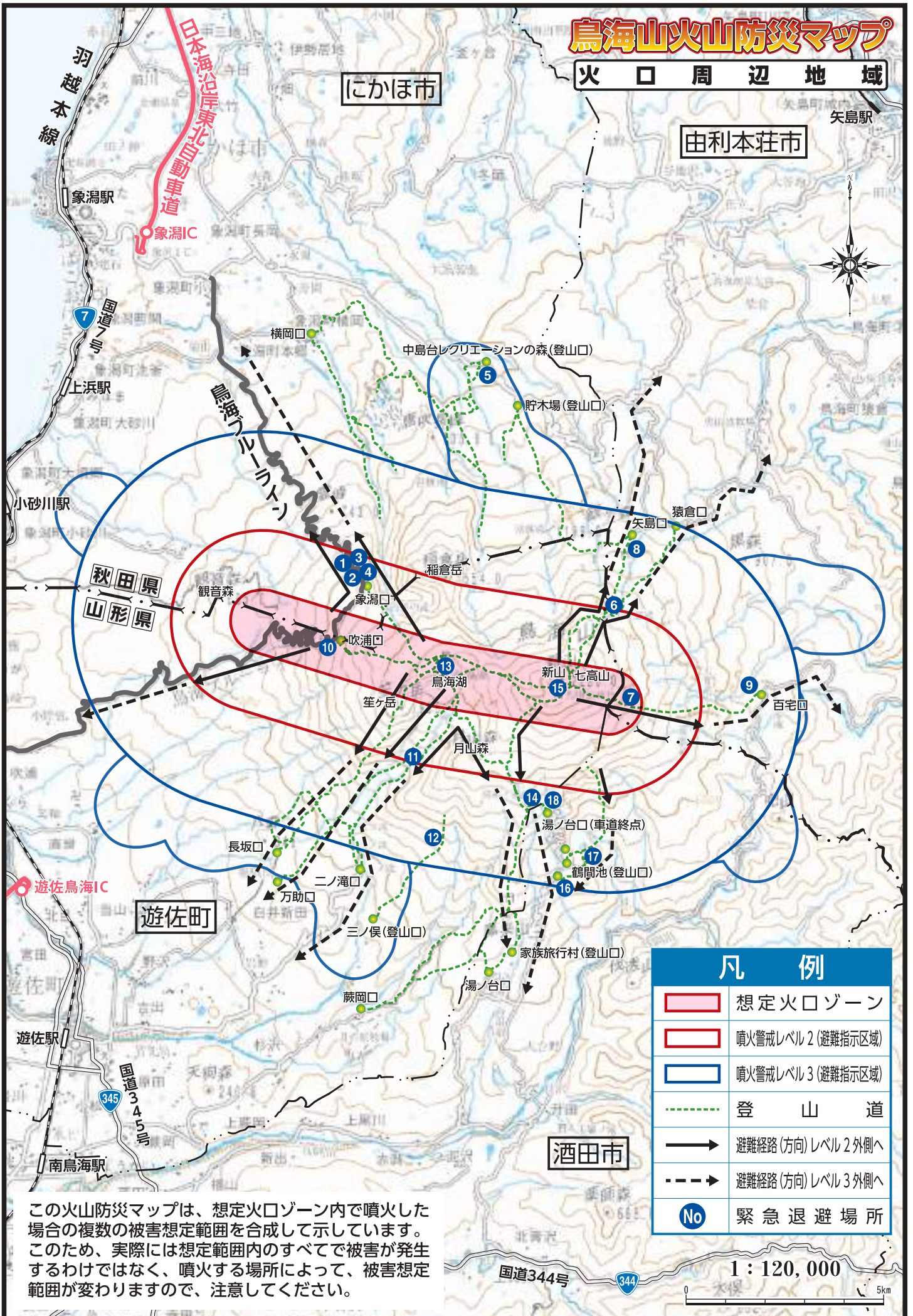
この火山ハザードマップは、想定火口ゾーン内で噴火した場合の複数の被害想定範囲を合成して示しています。このため、実際には想定範囲内のすべてで被害が発生するわけではなく、噴火する場所によって、被害想定範囲が変わりますので、注意してください。





鳥海山火山防災マップ

火口周辺地域



避難経路(緊急下山ルート)(噴火警戒レベル2~3)

鳥海山において火口周辺地域から避難(緊急下山)する場合、
図の緊急下山ルートと下記の注意点を参考に、速やかに避難してください。

登山中の避難に関する注意点

- 火口がわかる場合は、火口から離れる方向へ避難してください。
- 火口が不明の場合は、注意して一番近い避難経路(方向)を使用して緊急下山してください。
- 突発的な噴火による噴石の飛散がある場合は、急いで火口から離れる方向へ避難するとともに、危険を少しでも軽減するため、近くの緊急退避場所や大きな岩陰等に一時的に緊急退避してください。



登山届の提出

登山する場合は、登山届を必ず提出してください。
登山届ポストや、警察署等または電子申請でも提出できます。

緊急退避場所一覧

番号	施設名
①	鉾立ビジターセンター
②	稲倉山荘
③	鉾立山荘
④	東雲荘
⑤	中島台レクリエーションの森
⑥	七ツ釜避難小屋
⑦	唐獅子平避難小屋
⑧	祓川ヒュッテ
⑨	大清水避難小屋
⑩	大平山荘
⑪	万助小屋
⑫	鈴木小屋
⑬	御浜小屋
⑭	滝ノ小屋
⑮	山頂小屋(鳥海山大物忌神社)
⑯	山雪荘
⑰	鶴間池小屋
⑱	湯の台休憩所

登山の備え

必ずもっていくもの

- リュックサック
- 登山ぐつ
- 帽子・ヘルメット
- ゴーグル
- 軍手
- 雨具(上下)
- タオル・ぬれタオル
- 非常食(おやつ)
- 携帯ラジオ
- 携帯電話
- 登山地図・地形図
- ライト
- 交換用電池
- ばんそうこう・消毒液
- 防寒具
- 水
- 非常薬
- ゴミ袋

ヘルメット

ヘルメットは山ですべり落ちたとき、石が落ちてきたとき(落石)や石が飛んできたとき(噴石)に、頭を守ることができるので、ぜひかぶりましょう。

リュックサック

いざというときに、リュックサックを使って自分の体を飛んでくる石から守りましょう。

長そで

夏でも必須

雨具

手ぶくろ

軍手でもOK

ライト

噴煙が太陽をさえぎるとあたりはまっ暗になります。懐中電灯やヘッドランプがおすすめです。

ズボン

動きやすく丈夫なもの

登山靴

あると便利なもの

- 登山用ステッキ
- 日焼け止めクリーム
- サングラス
- 着替え用Tシャツ
- 保険証のコピー
- 携帯電話の予備バッテリー

ぬれタオル

火山ガスや火山灰に巻きこまれたときには、ぬれタオルを口に当てると呼吸が楽になります。

噴火が起きた時の行動

噴石

噴石の多くは火口から数km程度以内に落下するため、火口から十分に離れていれば安全です。噴火に気付いたら鳥海山に登山しないようにしてください。



溶岩流

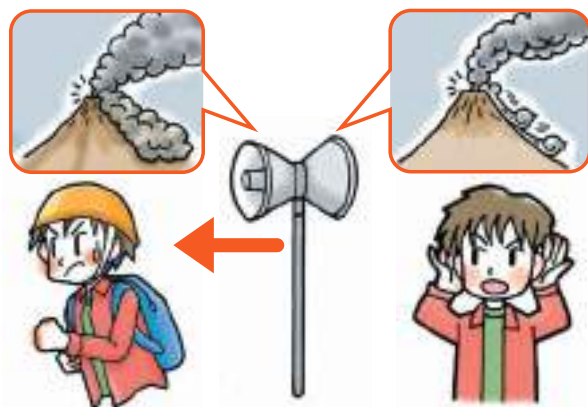
溶岩流は一般に速度が遅く、徒歩でも逃げる事が可能ですが、様々な危険な現象が起こることがあります。約800～1,000℃という高温のため溶岩流の通り道にある建物や木々は焼き尽くされてしまいます。落ち着いて、到達範囲の外に避難してください。



火砕流・火砕サージ

火砕流・火砕サージは高温のため巻き込まれると確実に命を落とします。また、高速（時速100km以上）で流れ下るため、発生してからの避難は不可能です。

噴火の危険性が高い状況になったら、速やかに避難してください。



降灰後の土石流

噴火により噴出した火山灰などが堆積しているところに雨が降ると、土石流が発生しやすくなります。噴火後に雨が予想されている時は、川の近くや谷の出口に近づかないようにしましょう。万が一避難が遅れた場合には、川（沢）から離れた少しでも高いところに逃げてください。



避難するときは、噴石や火山灰、土石流などの二次災害を考慮に入れ、足元に注意して避難しましょう。



融雪型火山泥流・火口噴出型泥流

融雪型火山泥流は、火砕流の熱などによる融雪により起きる泥流です。火口噴出型泥流は、火口から直接熱水が噴出して起きる泥流で、積雪の有無と関係なく発生します。どちらも高速（時速60kmを超えることもある）で流れるため、速やかな避難が必要です。自治体の避難指示等が出るなど噴火の危険性が高い状況になったら、できるだけ早く到達範囲の外に避難してください。万が一避難が遅れた場合には、少しでも高いところに逃げてください。



火山灰などの降下



火山灰から身を守る!!

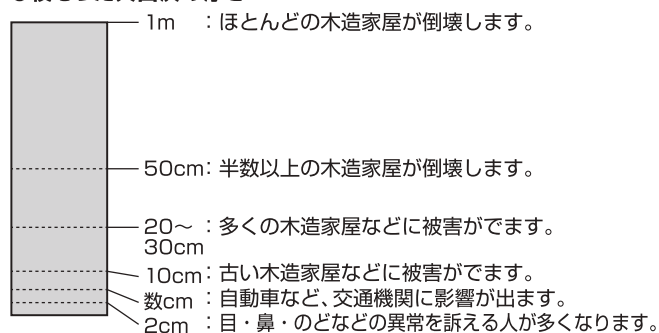
噴火すると風向きにより火山灰が積もることがあります。

以下のような対策で被害を防ぎましょう。



火山灰がたくさん積もった場合には、家屋がつぶれないよう、屋根の上の火山灰を除去してください。

●積もった火山灰の厚さ



目を守りましょう!

ゴーグル等を着用し目を守りましょう。万が一目に入った場合は、目の表面に傷がつくおそれがありますので、目がゴロゴロしたら、こすらずに水で洗い流しましょう。コンタクトレンズの方は眼鏡に替えることをお勧めします。



マスクを着用しましょう!

火山灰は非常に細かくトゲトゲしているため、呼吸器系の症状を引き起こす場合があります。マスクがない場合は、濡らしたハンカチで鼻と口を押さえましょう。



運転に注意!

多量の降灰により視界不良となる場合があります。また、水を含んだ火山灰は滑りやすくなるため、徐行運転を心がけましょう。



火山灰の侵入を防ぐ!

火山灰は小さな隙間から家屋に入り込みます。窓等の隙間をふさぎ、火山灰の侵入を防ぎましょう。





避難の心得

避難に際しては日頃からの準備が大切です。
火山活動が活発化したときは、正しい情報を得て準備をしてください。

日常

- 日頃から気象台の発表する火山情報や、報道機関の防災情報に関心を持ちましょう。
- 避難場所、避難路の確認をしておきましょう。
- 家族や近所で避難の仕方を話し合っておきましょう。
- 防災訓練に参加しましょう。
- 非常用品をリュックに入れて準備しておきましょう。



避難時

- 市町村長から避難指示が発令された場合、または、身の危険を感じた場合には、速やかに避難しましょう。
- 市町村、警察、消防の正しい情報をつかみ、デマ、噂に惑わされないようにしましょう。
- 緊急時は避難を最優先にしましょう。
- 慌てずに落ち着いて、迅速に行動しましょう。

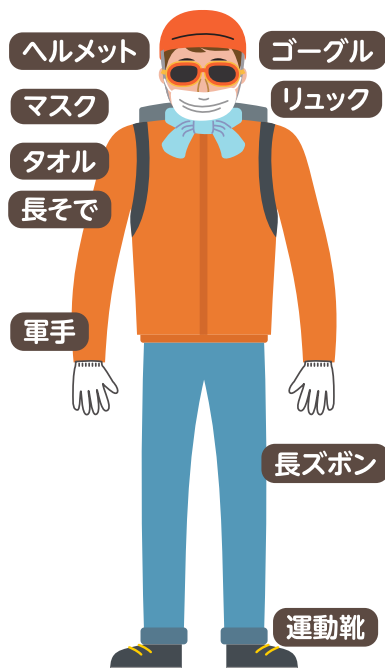


日頃の準備



避難時の装備

噴火が起きても慌てずに、このような装備で避難しましょう。



昭和49年3月1日に起きた鳥海山の水蒸気噴火



情報収集方法

噴火のもしものときに備えて
大事なのは正しい情報! 情報収集して備える!!



インターネット

気象庁

<https://www.jma.go.jp>

秋田県庁

<https://www.pref.akita.lg.jp>

山形県庁

<http://www.pref.yamagata.jp>

日本火山学会

<http://www.kazan.or.jp>

内閣府 [防災情報のページ]

<http://www.bousai.go.jp>

国土交通省砂防部

<http://www.mlit.go.jp/river/sabo/index.html>

鳥海国定公園観光開発協議会

<http://chokaizan.com/>



テレビ・ラジオなど

警報や注意報の発表状況は、テレビ・ラジオ・ケーブルテレビやテレビのデータ放送でも情報の入手が可能です。

データ放送を見るには、テレビリモコンの  ボタンを押す



緊急速報メール

お手持ちの携帯電話会社より、

噴火や津波、気象に関する特別警報

緊急地震速報

災害・避難情報

が無料で配信されます。

SNS を活用しよう!!

SNSは災害状況や救援に関する情報共有を行ったり、家族・友人などの安否確認もできます。



X | エックス

災害時に役立つアカウントをフォローしたり、状況報告や救援情報の発信・共有などができますが、デマなどの誤情報には注意が必要です。



LINE | ライン

メッセージの送受信だけでなく、無料の通話機能や位置情報共有、グループトークの連絡網利用など、緊急時にも役立つ様々な活用法があります。



Facebook | フェイスブック

Facebook上の友人たちに、自分の安否情報のメッセージを一齐に発信できる機能があります。



安否確認方法

SNS以外の家族や友人の安否を確認するための方法です。覚えておくといざという時助かります。



災害用伝言ダイヤル 171

安否メッセージを録音・再生できる「声の伝言板」です。インターネットを利用する「web171」も利用できます。

171 または NTT  検索



災害用伝言板

大規模な災害が発生した場合に、各携帯電話会社から提供される災害用伝言板です。携帯電話やスマートフォンから安否情報の登録・確認ができます。



J-anpi (ジェイアンピ)

「電話番号」または「氏名」で災害用伝言板、報道機関、企業・団体が提供する安否情報を一括で検索・確認できるサイトです。

j-anpi  検索

災害への備え



非常持ち出し品を準備する

- もしもの災害時にすぐ避難できるよう非常持ち出し品(袋)を準備しておきましょう。
- 中身は自分にとって必要なものを、家族がいる場合は1人分ずつの用意があると安心です。
- 両手を使えるリュックなどを使い、玄関や寝室などに置いておけば、いつでも持ち出すことができます。

必要なものを書き込み、チェックしてみましょう!

貴重品

- ☐ 現金(10円玉を含む)
- ☐ 預金通帳
- ☐ 印鑑
- ☐ マイナンバーカード
- ☐ 健康保険証・資格確認書等(コピーでも可)
- ☐ 運転免許証(コピーでも可)
- ☐ 重要書類
- ☐ 親戚・知人等の連絡先メモ
- ☐ 家族写真(家族とはぐれたときなどに便利)



※貴重品や重要書類はコピーをとったり、必要事項をメモしたものを入れると良い。

情報収集用品

- ☐ 携帯ラジオ・乾電池
- ☐ 筆記用具(日光や雨に強いもの)
- ☐ スマートフォンや携帯電話の充電器



非常食・飲料水

- ☐ 乾パン・ビスケット
- ☐ ゼリー飲料や栄養補助食品
- ☐ チョコレート・あめなど
- ☐ 飲料水

※食事ではなく、避難行動時のエネルギー補給ができるもの。

衣料品・防寒対策用品

- ☐ 雨具(レインコート・ポンチョ)
- ☐ レジャーシート・保温シート
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ 大判スカーフ
- ☐ 着替え
- ☐ 防寒具

※雨などに濡れた場合に備えて着替えは1セット分を用意。圧縮下着や使い古したものを旅行用の圧縮袋に入れておくとコンパクトに収納できる。

避難用品

- ☐ 底の厚い靴(登山靴やスニーカーなどひもで結ぶもの)
- ☐ 手袋・軍手(頑丈な作業用手袋や革手袋が良い)
- ☐ ヘルメット・防災頭巾
- ☐ 懐中電灯・ヘッドライト
- ☐ ホイッスル
- ☐ ハザードマップ・地図



救急・衛生用品

- ☐ ばんそうこう
- ☐ 消毒液
- ☐ 包帯
- ☐ ガーゼ・脱脂綿
- ☐ マスク
- ☐ ピンセット・毛抜き・はさみ
- ☐ 常備薬(風邪薬・傷薬など)
- ☐ 持病薬
- ☐ おくすり手帳(コピーや薬のメモでも)
- ☐ アルコール除菌(シートやジェルなど)
- ☐ ティッシュ
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ ビニール袋
- ☐ 携帯トイレ
- ☐ 生理用品
- ☐ 保湿クリーム
- ☐ 重曹



※特に女性の方は入浴できないことも想定し、ボディシートなどのエチケットグッズ、スキンケア用品、オールインワン化粧品などがあると便利。

個別必要品

- ☐ 粉ミルク・ほ乳びん
- ☐ ベビーフード・おやつ
- ☐ 紙おむつ・おしりふき
- ☐ 絵本・おもちゃ
- ☐ 抱っこひも
- ☐ 母子手帳(コピー)
- ☐ 大人用紙おむつ
- ☐ 介護用品
- ☐ 予備メガネ・補聴器
- ☐ 入れ歯
- ☐ 携帯用杖
- ☐ ペット用品 など



巻末袋



事前に避難場所を確認して記入しておきましょう



わが家の避難先は…



避難場所名



電話番号

鳥海山の活動に変化があった場合は、
仙台管区気象台から以下の警報・情報が発表されます。

噴火速報 ●噴火の発生を迅速にお知らせします。

噴火警報・噴火予報

- 噴火警報(居住地域)：警戒が必要な範囲が居住地域まで及ぶ場合に発表し、特別警報に位置づけられています。
- 噴火警報(火口周辺)：警戒が必要な範囲が火口周辺に限られる場合に発表します。
- 噴火予報：噴火警報を解除する場合等に発表します。

火山の状況に関する解説情報

- 火山活動が活発な場合などに、活動状況や注意が必要な事項をお知らせします。

降灰予報

- 噴火に伴う火山灰の影響範囲および降灰の量の予測をお知らせします。

連絡先

鳥海山に異常が見られた場合は気象台または各自治体へ連絡して下さい。

気象庁(気象台)

発見者通報ダイヤル・・・TEL.0570-015-024(常時)

仙台管区気象台

地域火山監視・警報センター・・・TEL.022-297-8164(常時)

<https://www.data.jma.go.jp/sendai/>

秋田地方気象台・・・TEL.018-864-3955

<https://www.data.jma.go.jp/akita/> (平日 08:30~17:15)

山形地方気象台・・・TEL.023-622-0632

<https://www.data.jma.go.jp/yamagata/> (平日 08:30~17:15)

由利本荘市 危機管理課・・・TEL.0184-24-6238

<https://www.city.yurihonjo.lg.jp/>

にかほ市 防災課・・・TEL.0184-43-7504

<http://www.city.nikaho.akita.jp/>

酒田市 危機管理課・・・TEL.0234-26-5701

<http://www.city.sakata.lg.jp/>

遊佐町 総務課・・・TEL.0234-72-3311

<http://www.town.yuza.yamagata.jp/>

秋田県 総合防災課・・・TEL.018-860-4562

<https://www.pref.akita.lg.jp/>

山形県 防災危機管理課・・・TEL.023-630-2231

<https://www.pref.yamagata.jp/020072/bosai/kochibou/index.html>

避難時の安否情報の確認

NTT「災害用伝言ダイヤル」**171**(局番なし)

【発行】鳥海山火山防災協議会(事務局・山形県防災危機管理課)

【資料提供】宇井忠英・酒田市立資料館・鳥海山飛島ジオパーク推進協議会
にかほ市象潟郷土資料館・林信太朗(五十音順・敬称略)